



さいたま市

西区 火の用心

発行 お問い合わせ
さいたま市西消防署
西区西大宮3丁目48番地
TEL 048-625-2861
FAX 048-625-2818

2024年度全国統一防火標語



守りたい 未来があるから 火の用心

令和7年 春季全国火災予防運動実施中

実施期間：令和7年3月1日～3月7日

この運動は、防火意識を高め、火災の発生を未然に防ぐことを目的として地域住民や企業が参加する様々な行事が展開されます。実施期間中は、消火訓練や広報活動を通じて、地域の防火意識を高める取り組みが行われます。

近年、都市構造や生活様式の変化に伴い、火災の発生原因が多様化しています。そのため、市民一人ひとりが防火防災の重要性を認識し、日常生活において十分な備えをすることが求められています。春の火災予防運動を通じて、地域社会全体で協力し合い、安全で安心な生活環境を築くことが重要です。これにより、火災による被害を未然に防ぎ、地域の安全を確保することが期待されています。

住宅火災の対策として
住宅用火災警報器
住宅用消火器
を設置しよう



火災発生原因
(令和6年・西区)

原因	件数
電気関係	7件
放火	5件
たばこ	4件
火遊び	3件
こんろ	3件
たき火	2件

さいたま市内では、令和6年中の火災は令和5年中の火災件数を超え、13.1%の増加、西区内の火災件数も14.3%増加となっています。

西区内での出火原因では、電気配線やコンセント、電気器具などから出火する電気火災がトップで放火、たばこが続きます。また、さいたま市内では出火原因のトップは放火、続いてこんろとなっています。

こんろ火災は家庭内で発生する火災の中でも特に多く、注意が必要です。調理中に目を離したり、油が過熱することで引き起こされることが多いため、調理中は常にこんろの近くにいたことが重要です。

こんろ周辺には燃えやすいものを置かず、定期的に掃除を行うことで火災のリスクを減少させることができます。安全な調理環境を整え、火災を未然に防ぎましょう。

令和6年中の西区の火災について

西区内火災発生状況

	西区内火災件数		さいたま 市内 火災件数	西区内死傷者		西区内焼損程度			
		うち住宅 火災件数		死者	負傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや
令和6年	32	16	354	1	4	1	0	3	16
令和5年	28	11	313	1	7	5	2	4	12

令和6年の数値は概数で変更となる可能性があります。

住宅防火訪問について

住宅火災の発生防止と火災による高齢者被害を軽減するため、消防職員が高齢者世帯を訪問し、防火指導を実施しています。

今年度は、西区内で令和7年1月末時点で3,465世帯を訪問させていただきました。ご協力ありがとうございました。

来年度は、昨年度以前に訪問した際に不在だった世帯に対しての再訪問の実施として3,263世帯の実施を計画しています。皆様よろしくお願ひします。

防火指導は、庭先、玄関先、インターホンでの口頭によるもので、家の中に入ることはありません。住宅用火災警報器の設置状況の確認や既に設置されている場合には、今後の維持管理などについてご説明します。

また、防火パンフレットを配布させていただきました。

不在の場合には、訪問したことをお知らせするチラシやパンフレットを郵便受けに投函させていただきます。



こちらのQRコードから、「住宅防火の手引き」がご覧になれます。ぜひご自宅の防火対策にお役立てください。



消防団員を募集しています！

火災や、大地震などの災害時地域の要として活動するのが消防団です。消防団は本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安心と安全を守るため活躍しています。

消防団員の年齢層は幅広く、会社員、自営業、学生、主婦など、様々な人が参加しています。

消防団は、みなさまの力を必要としています。特別な資格は必要ありません。18歳以上の健康な方で、市内にお住まいの方、お勤め先や通学している学校が市内にある方は、男女問わず、どなたでも入団することが出来ます。

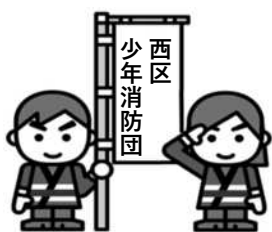
さいたま市消防団は、一緒に活動していただく仲間を募集しています。

少しでも興味のある方は、どうぞお気軽にお問合せください。

少年消防団員

少年消防団は、消防署で防火・防災に関する研修や訓練、消防出初式やイベントなどで火災予防広報を行っています。

西区では現在14名が活動しています。ぜひ一緒に活動しましょう。



敬礼！ ビシッ！

みんな まってるよ！

入団資格…原則として市内在住又は在学

小学4年生から高校3年生まで